

# まちの話 だい

## 4月1日 | 来館者 200万人達成

田代の郷温泉「伊太和里の湯」の来館者が、200万人を達成しました。節目の来館者となった家族連れには、古賀支配人と従業員から、お祝いの言葉とともに花束と記念品が贈られました。

支配人は「多くのお客様に利用していただき、とても感謝している。これからも、さまざまなサービスをきめ細かく提供していきたい」と意気込みを語りました。



## 4月24日 | 心を込めた手作りマスク

市が4月20日から始めた「手作りマスクづくり隊」の呼び掛けに応じてくれた有志から、多くの布製マスクが寄付されました。

約200枚のマスクを寄付した、金谷地区社会福祉協議会の暮林亮治会長とスタッフは「協議会に所属する8つの団体のみんなが、一つ一つ心を込めて作ったやさしいマスク。大事に使ってもらえればうれしい」と作り手の思いを述べました。

## トピックス

### 静岡県景観賞「奨励賞」を受賞



4月10日「第12回静岡県景観賞『奨励賞』」を受賞した島田商工会議所青年部とNPO法人ソラノワの関係者が、市長を表敬訪問しました。

受賞したのは、蓬萊橋右岸側の展望台にある「蓬萊橋を望むフォトフレーム」。商工会議所青年部の小島卓美氏は「島田工業高校の生徒や先生、地域の皆さんと協力して、蓬萊橋という観光資源を活用した新たなスポットを作ることができた」と喜びを語りました。





## 4月24日 | 弁当を買って店舗を応援

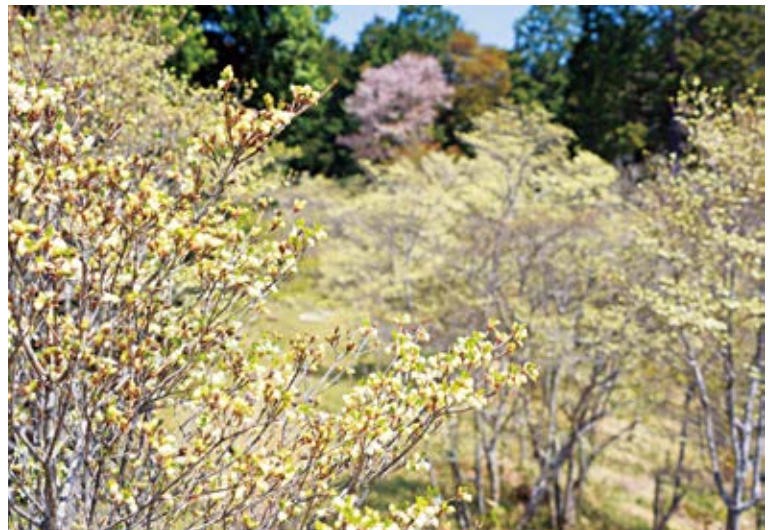
新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者が大幅に減少する市内飲食店を、テイクアウトやデリバリーサービスなどで応援する「島田エール飯<sup>めし</sup>」が、4月下旬から各店舗で始まりました。

市役所内でも、職員が弁当を注文し、写真や感想を職場や SNS で共有することで、島田エール飯を自発的に推進。参加店舗については、市ホームページなどでも、広く情報発信しています。

## 4月9日 | 春の山に瞬く白い星々

千葉山ハイキングコースにある「どうだん原」で、ドウダンツツジの花が見頃を迎えました。

「スカイペンションどうだん」から15分ほど歩いた先に、約8,000本のドウダンツツジが自生しています。花の名は、漢字で書くと「満天星」。そのイメージどおり、今春も釣り鐘状のかれんな白い花を、夜空に浮かぶ星々のように咲かせました。秋には葉が真っ赤に染まり、紅葉を楽しめます。



## 4月22日 | 障害者手作りマスク販売

市内の2つのNPO法人「こころ」と「きらり」がそれぞれ運営する障害者福祉サービス事業所の利用者が、布製マスクを製作。その販売が、市役所で行われました。

用意されたマスクは、カラフルなものや花柄の入ったかわいらしいものなど、子ども用から大人用まで約500枚。販売開始とともに大勢の人が訪れ、思い思いのマスクを選んでいました。